

二級水系 天白川水系流域治水プロジェクト【位置図】

愛知県

～市街化が進行する都市の「暮らし」を水災害から守る流域治水対策～



凡 例

- 浸水想定範囲(整備計画規模)
- 流域界
- 河道拡幅・河床掘削・橋梁改築等
- 道路
- 鉄道

※上記整備には堤防の耐震対策を含む。

名古屋市

- 河床掘削(護岸改修含む)、橋梁高上、堰改築
- 雨水排水網の整備
- ポンプ場の増強・機能強化(耐震化、耐水化)・設備更新
- ため池の保全・整備
- 貯留浸透施設の改良
- 水害リスクを考慮した居住誘導
- 要配慮者利用施設等における避難確保計画の作成促進
- ハザードマップ等の周知・啓発
- 雨水流出抑制の普及啓発

東海市

- 天白川 堤防耐震対策
- 大高川 堰改築

名古屋市

- 扇川 河床掘削(護岸改修含む) 橋梁高上

東海市

- 手越川 河床掘削(護岸改修含む)

長久手市

- 長久手市浄化槽雨水貯留施設転用補助
- 雨水排水網の整備
- 立地適正化計画の作成
- ハザードマップの更新・啓発
- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進
- 自主防災活動の推進 等

長久手市

- 植田川 河床掘削(護岸改修含む)

名古屋市

- 天白川 堤防強化 河床掘削 橋梁改築 伐木、維持浚渫

豊明市

- 雨水貯留浸透施設設置費補助
- ハザードマップの作成・啓発
- 防災教育の実施

東海市

- 雨水貯留浸透施設設置費補助
- 雨水排水網の整備
- 立地適正化計画の改定
- ハザードマップの作成・啓発
- 監視体制の整備

愛知県(砂防課)

- 砂防関係施設整備
- 土砂災害警戒区域等の指定
- 土砂災害関連情報配信

長久手市

- 岩崎川 河床掘削 伐木、維持浚渫

日進市

- 市条例に基づく民間開発時における雨水抑制対策整備の指導
- 雨水貯留浸透施設設置費補助
- 雨水排水網の整備
- ハザードマップの作成・啓発
- 防災教育の実施

東郷町

- 雨水貯留浸透施設設置費補助
- 雨水排水網の整備
- 立地適正化計画の改定
- 防災訓練の実施
- ハザードマップの更新・啓発

大府市

- 雨水貯留浸透施設設置費補助
- 雨水排水網の整備
- 立地適正化計画の作成
- ハザードマップの作成・啓発
- 要配慮者利用施設等の避難確保の取組促進
- 防災教育の実施

- 天白川流域は、下流域のほぼ全域が市街化が進んだポンプ排水域で、湛水しやすい地形であり、2000年(平成12年)9月の東海豪雨では、甚大な被害が発生したため、河口から弥富ポンプ所付近(8.5km付近)までの区間において「河川激甚災害特別緊急事業」の採択を受けた。また、中上流域においては、開発による土地改変が急速に進んでおり、水害リスクの高い地域となっている。
- そのため、中上流域の河床掘削や下流域の軟弱な地盤に位置する堤防の耐震対策などの河川整備、貯留浸透施設による流出抑制対策、雨水排水網の整備による内水被害対策などのハード対策と、水害リスクの低い地域への居住誘導や、ハザードマップの更新・啓発などのソフト対策を併せて実施する。
- これらの取組により、河川整備計画の目標の治水安全度を確保し、浸水被害の軽減を図る。

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防強化、河床掘削、橋梁改築、堤防耐震対策 等
- ・砂防関係施設整備
- ・流出抑制対策 (ため池の保全・整備、貯留浸透施設の改良、雨水貯留浸透施設設置費補助 等)
- ・内水被害軽減対策 (雨水排水網の整備、ポンプ場の増強・機能強化(耐震化、耐水化)・設備更新 等)

● 被害対象を減少させるための対策

- ・自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 (立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクを考慮した居住誘導、土砂災害警戒区域の指定 等)

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策 (要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの作成・啓発、 等)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組 (自主防災活動の推進、防災訓練の実施、「みずから守るプログラム」普及促進 等)
- ・ソフト対策のための整備 (水害リスク情報の空白域の解消 等)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

二級水系 天白川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

愛知県

～市街化が進行する都市の「暮らし」を水災害から守る流域治水対策～

天白川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】(概ね5年間)

- ・氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策として、下流域の堤防耐震対策、中流部の河床掘削、橋梁改築などの河川整備、貯留浸透施設の改良などの流出抑制対策、及び雨水排水網の整備や雨水貯留浸透施設設置補助などの内水被害軽減対策を進め、中下流域の浸水深、浸水面積の軽減を図る。
- ・被害対象を減少させる対策として、立地適正化計画への防災指針の位置づけについて検討を進める。
- ・被害の軽減、早期復旧のための対策として、「みずから守るプログラム」などの取組や水害リスク情報の空白域の解消として2級水系における浸水想定区域の公表、ハザードマップの作成・啓発を行う。

【中期】(概ね10年から15年間)

- ・下流部の堤防耐震対策を完了し、短期に引き続き中流域の河床掘削などの河川整備やポンプ場の増強・機能強化(耐震化、耐水化)・設備更新を進め、中下流域の浸水被害の軽減を図るとともに、被害対象を減少させる対策や、ハザードマップの更新・啓発及び防災教育を実施する。

【中長期】(概ね20年から30年間)

- ・さらに、中上流域の河川整備を進め、流域全体での浸水被害軽減を図るとともに、引き続き、被害対象を減少させるための対策として水害リスクを考慮した居住誘導や、被害の軽減、早期復旧のための対策を進め、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※各対策における旗揚げは、代表的な市町村名を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防強化、河床掘削、橋梁改築 等	県、市	[Red arrow spanning all periods]		
	耐震対策	県、市	[Red arrow spanning all periods]		
	雨水貯留浸透施設設置補助 等	市町	[Red arrow spanning all periods]		
	雨水排水網の整備 等	市町	[Red arrow spanning all periods]		
	ポンプ場の増強・機能強化(耐震化、耐水化)・設備更新 等	市町	[Red arrow spanning all periods]		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画への防災指針の位置づけ	市町	[Yellow arrow spanning all periods]		
	水害リスクを考慮した居住誘導	市町	[Yellow arrow spanning all periods]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップの作成・啓発 等	市町	[Green arrow spanning all periods]		
	要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進	市町	[Green arrow spanning all periods]		
	自主防災活動の推進 等	市町	[Green arrow spanning all periods]		
	「みずから守るプログラム」普及推進 等	県、市町	[Green arrow spanning all periods]		
	水害リスク情報の空白域の解消	県、市町	[Green arrow spanning all periods]		



【事業費 (R3年度以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 約 105億円 ※1
対策内容
(堤防補強、樹木伐採・河床掘削、橋梁改築、耐震対策 等)
- 下水道対策
全体事業費 約 595億円 ※2
対策内容
(雨水排水網の整備、ポンプ場の増強・機能強化、雨水流出抑制の普及啓発 等)

※1 河川整備計画の残事業費を記載
※2 各市における下水道事業計画の残事業費を記載